

## 令和4年次 品川教会 重点施策

### <品川教会 会員の現状> 2021年11月1日現在

会員数 9支部 2937 世帯 (区内 1422、区外 1515)

(昨年11月1日 3066 世帯 (区内 1552、区外 1514))

教会勧請ご本尊 387 世帯 (13.2 %)

本部勧請ご本尊 347 世帯 (11.8 %)

### <会員の段階 (昨年の統計) >

A 会員 (自主的に導き・手取りする) 145 人 (4.7%)

B 会員 (教会に自分から参拝する) 146 人 (4.7%)

C 会員 (会費の自納会員、教会は参拝しない) 1201 人 (39.1%)

D 会員 (会費の立替・未納会員) 1574 人 (51.3%)

### <令和3年 コロナ禍での功德>

- ① 時間に余裕があるお陰様で、会員さんとの触れ合い、家庭での実践にじっくり取り組むことができた。
- ② 当番や行事のお誘いではなく、電話でじっくりと会員さんのお話を伺ったりして、本来の手取りができた。
- ③ 安否確認で思いやりの電話をかけさせて頂き、久しぶりに話も出来て喜ばれた。
- ④ 安否確認を通して、気になる会員に電話をかけるきっかけを頂いた。
- ⑤ 手作りマスクを作ってお届けしたり、会員同士、協力し合ってマスクなどをお届けして喜ばれた。サンガの絆が深まった。
- ⑥ 会長先生より即是道場とご指導頂き、手作りの食事を作ったりして家族との触れあいも増え、家族との会話・交流も増えて喜ばれた。

- ⑦ 倭成、やくしんなどの文書もよく読ませて頂き、自分を見つめたり考えたりする内省の時間を頂けて有難かった。
- ⑧ 家族でお彼岸や年回供養をして頂くことが多くなり、家族に教えをお伝えするよい機会となった。
- ⑨ 苦手だったデジタルの活用にも慣れて、その重要性を感じた。今後もデジタルを倭成会の布教にどう生かしていくか、検討していきたいと思った。
- ⑩ オンラインで主任教育や青年部の品塾などの教育ができるようになったことが有難い。
- ⑪ 主任さんが他地区の会員さんたちに声かけをしてくれたりして、地区を超えて横のつながりが深くなった。

## <重点課題>

1. いかにかきめ細かな手取り・布教を推進するか。
  - ・立替会員、購読会員が多い。
  - ・誰が誰の手を取るのかが明確になっていない。
  - ・マンションも多く、都市型布教をいかに推進するかが課題。
  - ・コロナ禍の中、いかに法を伝えていくか。
2. いかにか信仰者・菩薩を育成するか。
  - ・主任、組長も高齢化し、後継者がいない。特に若手の組長育成が急務。
  - ・婦人、青年、若手壮年の育成も大きな課題。
  - ・仕事をしている人が多い。仕事しながらのお役のあり方も課題。
3. いかにか家族への信仰の継承を進めるか。
  - ・信仰が個人の信仰になっていて、家族に法が伝わっていない。
  - ・子や孫に信仰が継承されていない。
  - ・子や孫にいかにか「教えの素晴らしさ、有り難さ」を伝えていけるか。

## <令和4年 教会重点施策>

### 1. きめ細かな手取り・導きを推進する。

- ① 「誰が誰の手を取るのか」を明確にして、「声をかける・様子をたずねる」の安否確認を継続し、2か月に1回その報告をまとめ、布教会議にてその課題を検討する。
- ② 支部長―主任―組長による手取り、法輪部の友愛訪問、壮年部・青年各部の手取りを推進するため、毎月4日の地域布教日、各支部の布教日、壮年部・青年部の手取り日などを決めて、教会あげてお導き・手取りに取り組む。
- ③ 「デジタル布教推進委員会」で引き続き、ラインや SNS を活用した布教・教育を推進し、デジタルを活用できない会員にできる人が具体的に関わっていく。

### 2. 各地区に一人以上、若手の組長を育成する。

- ① 「佼成会の先祖供養」の尊さ・有難さをお伝えする具体的な手立てを布教会議で検討し、朝夕のご供養、年回供養等の徹底を通して、信心堅固な組長を育成していく。
- ② 教師資格を持つ幹部さん方が、組長に育成したい会員・婦人さんとの「お供修行」を通して、布教の智慧・喜びをお伝えし、手取り・導きができる組長を育成していく。
- ③ オンライン教育・集合教育を通して「ご法の習学」を推進し、家庭や職場での実践を通して信仰の喜びを感じて頂き、自灯明・法灯明の組長を育成していく。
- ④ 婦人層が魅力を感じるお役の名称を検討する。(例：ラカリテ・リーダーなど)

### 3. 家族への信仰の継承を強く願い、家族でのご供養を推進する。

- ① 会員一人ひとりが、家族や子孫の幸せのために「仏さまの教えが最大の宝」であることを確信して頂けるように、幹部がつねに確認していく。
- ② ご供養の後「会員の修行目標」を読み上げ、家庭で教えを実践して家族に喜ばれる人間となり、信仰の喜び・有難さを家族に言葉にして、いつも伝えていく。
- ③ ご法の縁に触れて頂けるように、オンラインを活用しながら、楽しく魅力ある少年部・学生部・男女部・婦人部の活動、家族で参拝頂ける行事を企画していく。